

リハビリテーション学部 作業療法学科 2022 年度活動報告

I. 作業療法学科の特色と養成人材像

作業療法学科は、保健医療分野における生活支援を行う医療専門職である作業療法士としての高い専門的知識と技術を備えることで日常生活や社会生活に必要な能力の維持・回復のため、身体に障害のある者に応用的動作能力を、又は精神に障害のある者に社会的適応能力を獲得させ、多様な生活者の健康寿命の延伸等を含めた QOL の向上に貢献できる人材を育成する。

さらに、生活支援分野等に隣接する他分野や組織の経営・マネジメントの知識を身につけ、共生社会の実現と発展に貢献する実務リーダーを育成する。

II. 作業療法学科専任教員（職位別 五十音順）

本学では理論と実践を架橋する教育課程の提供に必要な研究者教員と実務家教員を配置し、アカデミックな学びに加え、実践的な学びを主導できる体制を整えた。また、保健医療分野に限定せず、様々な分野で実務家として活躍してきた講師陣を配置している。

2022 年度、作業療法学科は合計 26 名の専任教員が所属し、内訳は作業療法士有資格者は 16 名、基礎科目・展開科目担当教員は 10 名であった。

片岡 幸彦：教授
草野 修輔：教授（副学長）
熊本 圭吾：教授（2022 年 4 月着任，学生部長）
佐々木 清子：教授
佐々木 博之：教授
佐藤 章：教授（学部長）
埜崎 都代子：教授
星 克司：教授（2 学年 2 クラス副担任）
宮田 雅之：教授
柳澤 孝守：教授
山田 孝：教授
若原 圭子：教授（1 学年 2 クラス副担任）
猪股 英輔：准教授（副学科長）
小野寺 哲夫：准教授
菊地 みほ：准教授（学生相談室長）
近野 智子：准教授（学科長）
坂本 俊夫：准教授
里村 恵子：准教授
秋元 美穂：講師（2 学年 2 クラス担任）

井口 佳晴：講師（1 学年 1 クラス担任）
齋藤 久恵：講師（2 学年 2 クラス担任）
平野 夏子：講師
井川 大樹：助教（1 学年 2 クラス担任）
河邊 宗知：助教（1 学年 1 クラス担任）
佐藤 淳矢：助教（3 学年 1 クラス担任）
畠山 久司：助教（2 学年 1 クラス副担任）

III. 活動内容

2022 年度は、作業療法学科 3 期生として 55 名が入学した。年度始めより、新型コロナウイルス感染予防に配慮しながら、入学式をはじめとした各種行事や授業は全て通常通り対面形式で実施した。臨地実務実習は、実習施設の感染状況や実習生受け入れ方針に従い、実習時期や実施形態の一部変更などを余儀なくされたがほぼ臨地での実習を実現することができた。大学の方針に則り感染予防に最大の注意を払いながら、安全の確保と教育の質の担保の両立を目指した。

1. 授業について

2022 年 4 月 2 日に入学式が挙行され、4 月 2 日から 4 月 4 日まで新入生ガイダンスが行われた後、4 月 5 日より前期授業が開始された。新型コロナウイルス感染状況を考慮し、行事や対面授業は大学の感染予防マニュアルに則り、マスクの着用、手指消毒、三密の回避、換気等の感染予防対応の徹底を図った。演習授業はグループ討論時にアクリル板を使用し、実技・実習の授業は身体接触時のルールの徹底を図りながら実施した。

2. 学生指導・サポート体制について

クラス担任・副担任は学生面談や個別指導を行うとともに、体調不良時は学生との連絡・報告を行い校医の指示のもと学生への指導を行った。大学の方針として、新型コロナウイルス感染症や濃厚接触者は公認欠席とした。学生からの各種相談は、担任・副担任のみならず、学生相談室と協力連携体制を取り、個々の学生の相談内容や状況に応じて対応した。

学生の出欠席の状況は、ユニバーサルサポートや科目担当者からのメール連絡、後期からはスプレッドシートを用いて情報を確認し、遅刻・欠席が多い学生

のフォローを行った。欠席が多い学生については、担任・副担任より保護者に対して連絡を取り、登校を促すよう協力を仰ぐとともに、学生面談による指導を行った。

2022年度より、作業療法士の資格を有する教員を、学修アドバイザーとして全学生に配置し、担当学生に対して履修登録、学期始めの学修に関する面談、定期試験前または学期途中の随時の相談・指導を実施した。学生の相談、指導内容については担任・副担任と共有し相互に役割分担、連携をしながら関わった。

3. 臨地実務実習について

①1 学年 体験実習Ⅰ・体験実習Ⅱ

体験実習は、新入生が入学後間もない時期に、作業療法の現場を体験することで、今後の学修への意欲を高め、専門職への理解を深めるために行う重要なカリキュラムと位置付けられている。2022年5月14日に、臨地実務実習指導者会議を対面とZoomによるオンラインの併用により実施した。過去2020年度、2021年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により全て学内実習にて実施したが、2022年度は、実習の全日を学外実習として実施することは困難であったものの、実習施設の協力のもと、体験実習Ⅰ(2022年6月8日、15日、22日、29日、7月6日)では実習日5日のうち4日は学外での施設実習を行い、もう1日は学内実習にて学内教員の指導のもと領域別の学内実習を行った。体験実習Ⅱ(9月12日～16日)は全員が1週間の学外での施設実習を実施した。新型コロナウイルス感染拡大の影響により実習中止となった学生については、年度内に追実習を実施する予定である。



写真: 体験実習 臨地実務実習指導者会議 (2022年5月14日)

②2 学年 評価実習Ⅰ・評価実習Ⅱ

2021年度の評価実習は学生数が少なかったことか

ら2学年全員が学外での施設実習を経験することができたが、2022年度においては新型コロナウイルス感染拡大の影響により、54名の学生に対して全ての実習施設を確保することは困難であった。評価実習Ⅰでは54名中41名、評価実習Ⅱは54名中44名の学生に対して学外実習施設の獲得ができたが、不足分については学内実習にて対応することとなった。2022年12月10日に対面とZoomによるオンラインを併用して、PT学科と合同での臨地実務実習指導者会議を開催した。

評価実習の履修要件である実習前実技試験は2023年1月16日と19日に実施予定である。

評価実習Ⅰは2023年1月30日～2月10日、評価実習Ⅱは2023年2月20日～3月3日に実施する予定である。実習前後1週間は、感染予防対策として学生は自宅待機とし、Zoomによるオンラインでの実習前学習及び振り返り報告会を実施する予定である。



写真: 評価実習 臨地実務実習指導者会議 (2022年12月10日)

4. 国家試験対策及び就職準備について

2022年度は主に3学年に対して、前期・後期において毎週1コマの国家試験対策を実施した。指導は国家試験対策部会の教員が担当した。また、2023年3月6日から8日までの3日間、外部講師を招いて国家試験対策特別講義を実施する予定である。

また、卒業年度の就職活動の準備としてキャリアガイダンスのプログラムが生まれ、段階的に就職に向けた準備を行っている。

5. 広報及び募集活動について

学科教員は大学で開催するオープンキャンパス及び大学説明会に参加し来校者への対応や学科説明、体験授業を行った。模擬講義では、作業療法オンライン模擬講義シリーズとして、有資格者の教員が作業療法に関する講義を担当した。また展開科目講義シリーズで

は、展開科目担当教員が講義を担当し、各専門領域の説明とリハビリテーションとの関連性について講義を行った。また、教員が高校訪問を行い、出前授業や高校教諭や生徒に対して作業療法や学科の説明等を行った。



写真：オープンキャンパス体験授業の風景

6. 学術交流

2023年1月14日、第3回東京保健医療専門職大学学術大会が開催される予定である。作業療法学科専任教員として菊地みほが第3部記念講演で「障がい者が社会に参加するために必要なこと」をテーマに講演を行う。また、第2部シンポジウムにおいて、井川大樹がシンポジストとして参加し「パラスポーツに関わっている作業療法士の調査とその実態」について講演を行う予定である。

7. 入学予定者対象の入学前イベント

2021年度は、2022年3月29日～31日までの3日間、『入学前プログラム』として、入学予定者を対象に大学生活や学修の心構えと作業療法に関する理解を深めるための説明や講義を行った。2022年度は、2023年3月22日、23日の2日間、入学予定者を対象とした『入学前プログラム』を実施する予定である。

IV 作業療法学科教員の活動（2022年1月～12月）

片岡 幸彦：教授

【学会発表】

- 1) 柳澤孝主, 江幡真史, 片岡幸彦, 若原圭子, 西澤達夫, 佐々木清子, 平野夏子, 有本邦弘, 五嶋裕子, 大塚幸永：「演題名：東京保健医療専門職大学における展開科目の可能性義-FD・SD研修会における発展的試みを通して-」全国リハビリテーション学校協会

第35回教育研究大会・教員研修会, 2022（令和4）年10月29・30日

【社会貢献等】

(研修会講師等)

- 1) 事業構想大学院大学 東京校 客員教授 「組織・人材マネジメント論」（2017年～現在）
- 2) 事業構想大学院大学 大阪校 客員教授 「組織・人材マネジメント論」（2019年～現在）
- 3) 事業構想大学院大学 名古屋校 客員教授 「組織・人材マネジメント論」（2021年～現在）
- 4) 事業構想大学院大学 仙台校 客員教授 「組織・人材マネジメント論」（2022年～現在）
- 5) 中小企業基盤整備機構 web校 セミナー講師 「職場で育つ人材育成の仕組みづくり」（2022年1月12日～2月2日）
- 6) 中小企業基盤整備機構 web校 セミナー講師 「人材育成につなげる人事制度運用～人事制度を効果的に運用するためのポイント～」 （2022年11月9日～11月30日）
- 7) 中小企業大学校 三条校 セミナー講師 「人が育つ！業績が向上する人事制度のつくり方」（2022年8月3日～9月8日）
- 8) 中小企業大学校 東京校 セミナー講師 「人が育つ！業績が向上する人事制度のつくり方」（2021年9月1日～10月6日）
- 9) 中小企業大学校 サテライト・ゼミ with さがみはら産業創造センター 「リーダー人材の育成と組織力強化の進め方」～社長がいなくても仕事が回る組織づくり～（2022年2月9日～3月16日）（2022年8月9日～8月30日）
- 10) 中小企業基盤整備機構 中小企業アドバイザー（人材支援）2022年4月～現在
- 11) 埼玉県理学療法士会 セミナー講師 「部下・後輩の成長を支援する1on1ミーティングの進め方」（2022年11月22日）
- 11) 物流会社 リーダー育成研修 講師 （2022年8月25日～12月7日）
- 12) 建設会社 幹部登用アセスメント支援コンサルタント（2022年11月4日～12月26日）
- 13) 自動車部品会社 管理署研修 講師 （2022年4月13日～7月6日）

草野 修輔：教授

【学会発表】

- 1) 田島文博, 陶山哲夫, 草野修輔: 東京パラリンピックにおいて日本パラスポーツ協会医学委員会が果たした役割. 第95日本整形外科学会, 2022年5月22日
- 2) 小杉峻, 草野修輔: 脊柱後側弯症術後に重篤な急性冠症候群を発症した一症例. 第22回日本ヒューマンケア・ネットワーク学会, 2022年12月11日

【論文・著書】

- 1) 草野修輔・他: 令和4年版 障害者職業生活相談員資格認定講習テキスト 第3章・第4節 内部障害者. 独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構 編, 141-143, 144-146, 2022.
- 2) 草野修輔・他: 2022年版 公務部門向け 障害者職業生活相談員資格認定講習テキスト 第3章・第4節 内部障害者. 厚生労働省 編, 113-115, 116-118, 2022.
- 3) 小杉峻, 草野修輔: 脊柱後側弯症術後に重篤な急性冠症候群を発症した一症例. 日本ヒューマンケア・ネットワーク学会誌, 20(1): 67-73, 2022.
- 4) 田島文博, 陶山哲夫, 草野修輔: 東京パラリンピックにおいて日本パラスポーツ協会医学委員会が果たした役割. 日本整形外科学会雑誌, 96(3): S959-S959, 2022.
- 5) 草野修輔: 健康寿命を延ばすために 健康寿命の延伸に向けて 高齢化と要介護者の実態およびWith コロナ時代において健康寿命の延伸に向けて配慮すべき病態について(会議録). 東京保健医療専門職大学紀要, 2:2, 2022.

【その他の学外活動】

- 1) 2022年5月18日: 日本障がい者スポーツ協会 アンチ・ドーピング部会会議出席(医学委員会副委員長、アンチ・ドーピング部会長)
- 2) 2022年6月7日: 日本障がい者スポーツ協会・医学委員会会議出席(医学委員会副委員長、アンチ・ドーピング部会長)
- 3) 2022年6月25日: 令和4年度障がい者スポーツコーチ養成講習会講師[障がい者スポーツにおけるアンチ・ドーピング活動(医学委員会副委員長、アンチ・ドーピング部会長)]
- 4) 2022年6月28日: 令和4年度 競技団体アンチ・ドーピング担当者連絡会議出席(医学委員会副委員長、アンチ・ドーピング部会長)
- 5) 2022年8月12日: 令和4年度障がい者スポーツトレーナー養成講習会講師[脳性麻痺、脳血管障がい、

中枢神経障がい(医学委員会副委員長、アンチ・ドーピング部会長)]

- 6) 2022年8月13日: 令和4年度障がい者スポーツトレーナー養成講習会講師[障がい者におけるアンチ・ドーピング活動(医学委員会副委員長、アンチ・ドーピング部会長)]
- 7) 2022年11月2日: 第35回社会福祉士、介護福祉士及び第25回精神保健福祉士国家試験に係る特別措置審査委員会出席(特別措置審査委員)

佐々木 清子: 教授

【著書】

- 1) 「あなたにとって作業療法とは何ですか」作業療法ジャーナル, 三輪書店, 2022. 11. 25

【社会貢献等】

(研修会講師等)

- 1) 小金井市立南小学校「特別支援学級くじらもぐ教室」研修会講師、令和4年7月21日
東京教育庁都立学校教育部医療ケア講習会講師
- 2) 「医療ケアが必要な子どもたちへの支援 一姿勢・運動」令和4年8月17日
- 3) 日本感覚統合認定講習会講師 検査習得編 令和4年9月23, 24日
- 4) 浦安市子ども発達センターPT/OT 合同勉強会講師 令和4年10月5日
- 5) 小平市保育園・幼稚園スキルアップ研修」の講師 令和4年7月～全5回
- 6) 江東・生活者ネットワーク、江戸川・生活者ネットワーク共催 令和4年7月3日
- 7) 日本作業療法士協会主催専門作業療法士 摂食嚥下 基礎Ⅳ 研修会講師 令和4年10月29, 30
専門作業療法士所得研修摂食嚥下基Ⅲの講師
「発達期の摂食嚥下障害」イーランニング 令和4年10月作成
- 8) すぎのき生活園職員教育研修会講師
中野区発達支援センターゆめなりあ職員教育研修会講師 令和4年3月～12月
- 9) 杉並区子ども発達センター 症例検討会講師 令和4年11月15日
- 10) 船橋市発達子ども発達相談センター 感覚統合講座講師 令和4年7月～12月まで6回
- 11) 練馬区大泉東小学校 さくら学級感覚統合療法研修会講師 令和4年
- 12) 中央区子ども発達支援センターゆりのき研修会講

- 師 令和4年12月
- 13) 練馬区北町小学校特別支援級教員指導 令和4年6月2日
- 14) アジサイ療育センター主催「現場にいかせる感覚統合療法」令和4年7月12日
- 15) 小平市教育委員会 巡回訪問指導 令和4年5月～12月
- 16) 東京リハビリテーションサービス主催 臨床塾講師 令和4年1月～3月末8回
- 17) 東簡易マザーズホーム主催研修会 現場で生かす感覚統合療法 令和4年1月28日
- 18) 杉並区立高井戸小学校主催保護者向け研修会 気になる子供への作業療法支援 令和4年1月25日
- 19) 目黒区栄養講座講師 摂食嚥下障害に対する作業療法 令和4年2月1日
- 20) 東京リハビリテーションサービス職員指導 令和4年6月～4回
- 21) 杉並区立西荻北保育園主催職員研修会 令和4年7月20日
- 22) 日本感覚統合学会 主催FD研修会講師 令和4年10月22日
- 23) 小平市花小金井小学校職員研修会講師 令和4年8月30日
- 24) 板橋区教育支援センター主催研修会 学校で活かせる作業療法 令和4年
- (団体等役員等)
- 1) 社会福祉法人武蔵野会 西久保保育園・評議員、(平成10年4月～現在)
- 2) 日本作業療法士協会専門作業療法士(摂食嚥下)ワーキンググループ委員(平成26年4月～現在)
- 3) 一般社団法人日本発達障害ネットワーク(JDDnet) 代議員(令和元年4月～現在)
- 4) 日本作業療法学会演題審査委員(令和2年4月～現在)
- 5) 日本感覚統合学会 代議員(令和2年4月～現在)

佐々木 博之：教授

【原著論文】

- 1) Novel electron microscopic staining method using traditional dye, hematoxylin. Hiroyuki Sasaki, Hisako Arai, Emi Kikuchi, Hideki Saito, Keiko Seki, Takeshi Matsui. Scientific Reports. 12(1) 7756-7756 2022年 ([https://doi.org/10.1038/s41598-022-11523-](https://doi.org/10.1038/s41598-022-11523-y)

y)

- 2) Electron microscopic double staining method with hematoxylin followed by lead citrate. Hiroyuki Sasaki, Emi Kikuchi, Hideki Saito, Takeshi Matsui. Protocol Exchange. 2022年6月(<https://doi.org/10.21203/rs.3.rs-1914/v1>)
- 3) Microbiota-Independent Spontaneous Dermatitis Associated with Increased Sebaceous Lipid Production in Tmem79-Deficient Mice. Ari Morimoto, Keitaro Fukuda, Yoshihiro Ito, Umi Tahara, Takashi Sasaki, Aiko Shiohama, Hiroshi Kawasaki, Eiryō Kawakami, Tatsuro Naganuma, Makoto Arita, Hiroyuki Sasaki, Haruhiko Koseki, Takeshi Matsui, Masayuki Amagai. (ア)Journal of Investigative Dermatology. 142(11):2864-2872. e6. (イ)2022年6月 (<https://doi.org/10.1016/j.jid.2022.06.003>)

【社会貢献等】

- 1) 東京保健医療専門職大学「夏休み子ども科学教室」講師 2022年8月15日～17日

埜崎 都代子：教授

【社会貢献等】

- (団体等役員等)
- 1) 自治体障害支援区分認定審査委員(平成18年～現在)

宮田 雅之：教授

【情報発信】

- 1) 「対談：日本の高等教育機関における専門職業人材育成の現状と課題(小林光俊、宮田雅之、宮地恵美子)」学校法人敬心学園ホームページ <http://www.keishin-group.jp/>
・第3回「専門職大学制度化への道のりとその意義」2022年1月7日掲載
・第4回「日本の高等教育機関に対する問題提起」2022年1月12日掲載

【地域・社会貢献等】

- (団体等役員等)
- 1) 専門職大学コンソーシアム事務局(2020年9月～

- 現在) 一般社団法人グローバルカイゴ検定協会 事務局長 (2021年3月～現在)
- 2) 新宿区専修学校各種学校協会 理事 (2022年7月～現在)
- 3) 文部科学省委託事業「外国人グローバル専門人材の育成を促進する日本-ASEAN 連携教育支援基盤の構築と整備」企画推進委員会 委員 (2021年10月～2022年3月)
- 4) 厚生労働省 老人保健健康増進等事業「介護現場での社会実装化を見据えた外国人介護人材キャリア育成に資する有効な手法確立のための調査研究事業」事務局長 (2022年9月～現在)

柳澤 孝主：教授

【著書】

(分担執筆)

- 1) 坂野憲司・福富律 (責任編集) 『ソーシャルワーク演習 (精神専門) - 臨床ソーシャルワーク事例集 - (新・精神保健福祉士シリーズ7)』弘文堂、2022 (令和4)年、12月30日第1章3節コラム「当事者の“語り” “記述” と援助者の責任」

【学会発表・講演】

(学会発表)

- 1) 柳澤孝主、江幡真史、片岡幸彦、若原圭子、西澤達夫、佐々木清子、平野夏子、有本邦弘、五嶋裕子、大塚幸永：「演題名：東京保健医療専門職大学における展開科目の可能性義-FD・SD 研修会における発展的試みを通して-」全国リハビリテーション学校協会第35回教育研究大会・教員研修会、2022 (令和4)年、10月29・30日

【地域・社会貢献】

(団体等役員等)

- 1) 福祉臨床シリーズ (弘文堂) 編集委員会 (平成17年6月1日～現在に至る) (令和3年4月からの社会福祉士・精神保健福祉士新カリキュラム対応のテキストシリーズの企画・編集等)
- 2) 日本教育福祉学会理事 (平成26年3月～現在に至る)

山田 孝：教授

【論文】

(総説)

- 1) 山田孝：日本の作業療法の発展に寄せて～作業行動の黎明期から人間作業モデルまで～. 第31回日本

作業行動学会学術集会, 温故知新～作業療法の未来
図～. 作業行動研究 26:119-129, 2022.

(原著論文)

- 1) 高木雄作, 青山克実, 山田孝：生活史を反映させた人間作業モデルによって, 役割獲得と家族の理解につながった事例～通所介護での認知症者に対するアプローチ～. 作業行動研究 25:182-190, 2022.
- 2) 三井里菜, 建石光貴, 山田孝：生活期のパーキンソン病患者に対して人間作業モデルを用いたことで作業参加が改善した事例. 作業行動研究 25:191-198, 2022.
- 3) 佐々木剛, 新泉一美, 春口麻衣, 山田孝：「作業に根ざした実践と作業療法の使用」に関する調査票の作成と妥当性の検討. ～Delphi法を用いて～. 作業行動研究 26:1-12, 2022.
- 4) 桜川淳也, 山田孝：認知症の行動・心理症状に潜在化するニーズに焦点をたてた介入により, 攻撃的行動の軽減につながった事例. 作業行動研究 26:34-42, 2022.
- 5) 内山カトリン, 新泉一美, 佐々木剛, 山田孝：意志への介入が環境の変化を呼び起こし作業参加を促進した事例. ～精神科長期入院患者への人間作業モデル活用～. 作業行動研究 26:43-50, 2022.
- 6) 坂元悠太, 本家寿洋, 山田孝：OPHI-IIでの語りとLAESによる考える楽しさの提供により作業への動機づけと活動性が向上した重度栄養障害の事例. 作業行動研究 26:102-110, 2022.
- 7) 久木崎航, 飯田博幸, 山田孝：頭骨遠位端骨折術例に対する自重式手関節牽引法の即時効果. 作業療法・ひむか(宮崎県作業療法学会誌)8, 16-21, 2022.
- 8) 新川正二, 山田孝：認知症高齢者に対する人間作業モデルを用いた作業療法, ～1群前後比較研究での介入効果～. 作業療法鹿児島 28:1, 16-20, 2022.

【講演】

(特別公演)

- 1) 山田 孝：日本の作業療法の発展に寄せて～作業行動の黎明期から人間作業モデルまで～. 第31回日本作業行動学会学術集会. 群馬・高崎, 群馬パース大学. 2022年6月18日.

(教育講演)

- 1) 山田孝, 伊藤祐子, 立山清美, ほか：コミュニケーションと交流技能評価. 第39回日本感覚統合学会研究大会 in 神奈川. オンライン. 2022年11月5日.

(シンポジウム)

- 1) 山田 孝, ほか: 人間作業モデル研究所山田塾からみた人間作業モデル教育と研究の未来. 第 31 回日本作業行動学会学術集会. 群馬・高崎, 群馬パース大学. 2022 年 6 月 19 日.

【学会発表】

- 1) 石塚匠海, 新泉一美, 佐々木剛, 山田孝: 転倒高齢者の受傷前における個人的原因帰属に関連するナラティブについて. 第 31 回日本作業行動学会学術集会. 演題 4. 群馬・高崎, 群馬パース大学. 2022 年 6 月 18 日.
- 2) 佐々木剛, 新泉一美, 春口麻衣, 清田直樹, 山田孝: 作業に根ざした実践の現状調査. 第 31 回日本作業行動学会学術集会. 演題 10. 群馬・高崎, 群馬パース大学. 2022 年 6 月 19 日.
- 3) 新泉一美, 佐々木剛, 春口麻衣, 清田直輝, 山田孝: 作業に根ざした実践 (OBP) の認識調査 ~ テキストマイニングによる質的分析 ~. 第 31 回日本作業行動学会学術集会. 演題 11. 群馬・高崎, 群馬パース大学. 2022 年 6 月 19 日.
- 4) 篠原豪助, 新泉一美, 山田孝: 急性期に MOHO の実践で役割が再構築した事例 ~ OSA を用いて ~. 第 31 回日本作業行動学会学術集会. 演題 12. 群馬・高崎, 群馬パース大学. 2022 年 6 月 19 日.
- 5) 青山克実, 石橋裕, 山田孝: 精神科領域における集団作業療法の効果に関する文献レビュー. 第 31 回日本作業行動学会学術集会. 演題 13. 群馬・高崎, 群馬パース大学. 2022 年 6 月 19 日.
- 6) 福井綾, 青山克実, 山田孝: 通所介護における作業療法介入に関する文献レビュー. 第 31 回日本作業行動学会学術集会. 演題 17. 群馬・高崎, 群馬パース大学. 2022 年 6 月 19 日.
- 7) 本家寿洋, 大山千尋, 小林法一, 山田孝: 余暇活動の参加や対象者の変化を可能にする楽しさに特化した治療戦略の開発. 第 31 回日本作業行動学会学術集会. 演題 20. 群馬・高崎, 群馬パース大学. 2022 年 6 月 19 日.
- 8) 坂元悠太, 本家寿洋, 山田孝: OPHI-II での語りと考える楽しさの提供により作業参加が改善した重度栄養障害の高齢者の事例. 第 56 回日本作業療法学会. 京都・国立京都国際会館, 抄録集 OJ-2-3. 2022 年 9 月 16-18 日.
- 9) 石塚雄之助, 岩崎純平, 吉永亮太, 中村哲也, 山田孝: 作業療法における上肢ロボット運用方法探索の

ための文献研究. 第 56 回日本作業療法学会. 京都・国立京都国際会館, 抄録集 PA-4-7. 2022 年 9 月 16-18 日.

- 10) 江端健治, 山田孝: 新型コロナウイルス感染により自宅復帰困難となったが, 人間作業モデルにより前向きになれた一症例. 京都・国立京都国際会館, 抄録集 PJ-6-4. 2022 年 9 月 16-18 日.
- 11) 田島明子, 山田孝: 興味の再生成に関わる要因の質的研究. 第 56 回日本作業療法学会. 京都・国立京都国際会館, 抄録集 PR-5-3. 2022 年 9 月 16-18 日.
- 12) 青山克実, 石橋裕, 老川良輔, 山田孝: 作業に焦点を当てた作業療法実践自己効力感尺度の開発. ~ 信頼性・妥当性の検証 ~. 京都・国立京都国際会館, 抄録集 OJ-2-3. 2022 年 9 月 16-18 日.
- 13) 江端健治, 山田孝: ゴールが自宅復帰に至らなくても, 生活への満足度が高まった一症例. 第 52 回北海道作業療法学会. オンライン, 2022 年 6 月 11-12 日.

【社会貢献活動】

- 1) 一般社団法人日本作業療法士協会. 教育部員. 2021 年 4 月 1 日 ~ 2022 年 3 月 31 日
- 2) 一般社団法人日本作業療法士協会. 学会演題審査委員. 2021 年 2 月 1 日 ~ 2023 年 3 月 31 日
- 3) 一般社団法人リハビリテーション教育評価機構. 評価認定委員会評価員. 2022 年 4 月 1 日 ~ 2024 年 3 月 31 日.
- 4) 日本保健科学学会. 評議員. 2021 年総会 ~ 2023 年総会
- 5) 一般社団法人日本人間作業モデル研究所. 人間作業モデル講習会講師. 2022 年 1 月 22-23 日, 3 月 12-13 日, 4 月 16-17 日, 6 月 11-12 日, 7 月 16-17 日, 8 月 20-21 日, 10 月 8-9 日, 11 月 11-12 日, 12 月 3-4 日. 評価法講習会講師. 2022 年 2 月 5-6 日, 4 月 30-5 月 1 日, 6 月 25-26 日, 8 月 6-7 日, 10 月 22-23 日, 12 月 17-18 日. 認知症講習会講師. 2022 年 1 月 29-30 日, 7 月 2-3 日. 精神科講習会講師. 2022 年 1 月 15-16 日, 5 月 28-29 日, 9 月 24-25 日. 発達期講習会講師. 2022 年月 12-13 日, 8 月 7-8 日. 1 日講習会講師. 2022 年 2 月 27 日, 3 月 27 日, 5 月 7 日, 6 月 4 日, 8 月 14 日, 9 月 11 日, 11 月 5 日, 12 月 10 日. いずれもリモートによる.
- 6) 一般社団法人日本人間作業モデル研究所. 事例検討会講師. 1 月 29 日 (東京西), 2 月 26 日 (東京西), 3 月 23 日 (東京東), 30 日 (福岡), 4 月 28 日 (東京西),

5月28日(大阪), 6月25日(福岡), 7月30日(東京西), 8月26日(大阪), 9月29日(北海道), 10月29日(東京東), 11月29日(福岡), 12月17日(東京西).
いずれもリモートによる.

7) 一般社団法人日本人間作業モデル研究所. 研究法の山田塾主催・講師. 1月28日, 2月25日, 3月23日, 4月22日, 5月28日, 6月25日, 7月30日, 8月27日, 9月28日, 10月22日, 11月30日の各90分. いずれもリモートによる.

若原 圭子 : 教授

【論文】

1) 若原圭子: 海外主要国のユニバーサルツーリズムに関する比較研究 ―心のバリアフリーに関わる背景整理からの一考察―, 東京保健医療専門職大学紀要 2 (1) : 19-29, 2022.

【社会貢献等】

(団体等役員等)

1) 日本女子大学住居学科同窓会「住居の会」役員 (2021年4月1日～2023年総会)

熊本 圭吾 : 教授

【論文・著書】

1) 熊本圭吾: 長野保健医療大学における2020年度前期オンライン授業実施報告. 長野保健医療大学紀要, (7): 73-85, 2022.

【社会貢献等】

(団体等役員等)

1) 日本ヒューマンケア・ネットワーク学会理事
2) 日本老年医学会雑誌 査読委員

猪股 英輔 : 准教授

【論文】

1) 猪股英輔, 金澤 均, 亀井将太, 中谷美季, 春口麻衣: 東京都作業療法士会会員における地域支援事業への参画に関する調査報告. 東京作業療法 10 : 42-49, 2022.
2) 坂本俊夫, 河邊宗知, 猪股英輔, 佐藤淳矢, 近野智子: COVID-19 下での作業療法臨地実務実習―本学での学内体験実習の試み―. リハビリテーション教育研究 28 : 91-92, 2022.

【社会貢献等】

(研修会講師等)

1) 東京都作業療法士会区西北部ブロック主催 現職

者選択研修「生活行為向上マネジメント基礎研修」演習ファシリテーター, 2022年3月14日

2) 東京都作業療法士会教育部主催 現職者選択研修「生活行為向上マネジメント基礎研修」演習ファシリテーター, 2022年11月20日
3) 東京都立大学大学院人間健康科学研究科作業療法科学域, 非常勤講師, 2022年10月27, 29日
4) 東京都作業療法士会 現職者共通研修「保健・医療・福祉と地域支援」講師, 2022年9月24日 (団体等役員等)

1) 一般社団法人東京都作業療法士会 学術誌「東京作業療法」査読委員 (2014年6月より現在に至る)
2) 一般社団法人東京都作業療法士会 学会演題査読委員 (2014年6月より現在に至る)
3) 一般社団法人日本作業療法士協会 学術誌「作業療法」第一査読者 (2019年6月より現在に至る)
4) 一般社団法人日本作業療法士協会 学会演題査読委員 (2014年12月より現在に至る)
5) 一般社団法人日本作業療法士協会 生活行為向上マネジメント事例報告登録制度A審査委員 (2015年9月より現在に至る)
6) 日本保健科学学会 論文査読委員 (2020年4月より現在に至る)
7) 一般社団法人東京都作業療法士会 地域包括ケア対策委員会 担当理事 (2014年7月より現在に至る)
8) 一般社団法人日本訪問リハビリテーション協会 制度対策部員 (2018年10月より現在に至る)
9) 社会福祉法人雲柱社 評議員 (2017年6月より現在に至る)

小野寺 哲夫 : 准教授

【著書】

1) 遠藤哲哉, 小野寺哲夫: 新・学習する組織の創造 自治体経営とイノベーション I, アクセス二十一出版. 2022年1月21日.
2) 遠藤哲哉, 小野寺哲夫: 新・学習する組織の創造 自治体経営とイノベーション II : 0JL の実装に向けて, アクセス二十一出版. 2022年3月31日.

【学会発表】

1) 小野寺哲夫, 森本晃司, 畠山久司, 大塚幸永, 武井圭一, 江幡真史: 医療系専門職大学の教育的特徴の何がOT/PTを目指す学生の成長に影響を与えるのか―東京保健医療専門職大学(TPU)の第1期生と2

期生に対するアンケート調査による検討—敬心学園
第 19 回職業教育研究集会, 分科会 5 報告, 2022 年
10 月 22 日.

- 2) 森本晃司, 畠山久司, 大塚幸永, 小野寺哲夫, 武
井圭一, 富田義人, 江幡真史, 鳥居昭久: 理学療
法・作業療法養成課程を有する専門職大学の魅力度・
認知度の調査—入学時学生アンケートによる実態調
査—一般社団法人全国リハビリテーション学校協会
第 35 回教育研究大会・教員研修会, 学生状況 3,
2022 年 10 月 30 日.

【研究会】

(事例報告・指定討論者)

- 1) 第 3 回 新 OJL 研究会 事例・研究発表「セブノー
マル大学 (フィリピン) との国際研究交流実践につ
いて②」指定討論者, 2022 年 4 月 21 日 (木) (ZOOM
開催) .
- 2) 第 4 回 新 OJL 研究会 事例・研究発表「自治体の
ガバナンスとリーダーシップの現状と課題②」指定
討論者, 2022 年 5 月 26 日 (木) (ZOOM 開催) .
- 3) 第 5 回 新 OJL 研究会 事例・研究発表「キーパー
ソンシップとサーバントリーダーについて」指定討
論者, 2022 年 6 月 24 日 (金) (ZOOM 開催) .
- 4) 第 6 回 新 OJL 研究会 事例・研究発表「学習する
組織における特別支援教育での実践」指定討論者,
2022 年 7 月 28 日 (木) (ZOOM 開催) .
- 5) 第 7 回 新 OJL 研究会 事例・研究発表「相馬支援
学校における OJL 研修会の報告」指定討論者, 2022
年 9 月 1 日 (木) (ZOOM 開催) .
- 6) 第 8 回 新 OJL 研究会 事例・研究発表「学習する
組織とセキュアベースリーダーシップについて」指
定討論者, 2022 年 9 月 30 日 (金) (ZOOM 開催) .
- 7) 第 9 回 新 OJL 研究会 事例・研究発表「セレンデ
ィピティによるイノベーションの事例研究について」
指定討論者, 2022 年 10 月 28 日 (金) (ZOOM 開催) .
- 8) 第 10 回 新 OJL 研究会 事例・研究発表「W 杯サ
ッカー・カタール大会の日本代表の試合結果に関す
る原因帰属研究計画について」指定討論者, 2022 年
12 月 2 日 (木) ZOOM 開催) .

【社会貢献等】

(研究会講師等)

- 1) 「日本離婚・再婚家族と子ども研究学会」学会誌『離
婚・再婚家族と子ども研究』査読委員 (社会心理学
研究論文担当)
- 2) ミドルリーダー研修会 講師「うまくいくチームの

コツとは? 企業で学んでいる組織学 (OJL) を学ぶ～
自ら考え、動く組織・チームを創るために～」, 2022
年 8 月 19 日 (金) 場所: 福島県立相馬支援学校 (南
相馬市)

- 3) 三軒茶屋病院 教育研修「メンタルヘルス研修」講
師, 2022 年 5 月 18 日 (水) 場所: 三軒茶屋病院.
- 4) 三軒茶屋病院 教育研修 「自己主張 (アサーショ
ン) トレーニング研修」講師, 2022 年 6 月 1 日 (水)
場所: 三軒茶屋病院.
- 5) 三軒茶屋病院 教育研修 「認知行動療法トレー
ニング研修」講師, 2022 年 6 月 15 日 (水) 場所:
三軒茶屋病院.

菊地 みほ: 准教授

【社会貢献等】

- 1) 講師「学生相談に生かす解決志向アプローチ」キャ
ンパスソーシャルワーク研究会 令和 4 年 5 月 15 日
- 2) 講師「ソーシャルワーク理論に基づいた学生対応」
東京保健医療専門職大学 FSDS 研修会 令和 4 年 6
月 27 日
- 3) 講師「Z 世代と家族」家族ソーシャルワーク研究会
令和 4 年 8 月 16 日
- 4) 日本ヒューマンケア・ネットワーク学会理事
- 5) NPO 理事

近野 智子: 准教授

【論文等】

- 1) 坂本俊夫, 河邊宗知, 猪股英輔, 佐藤淳矢, 近野智
子 「COVID-19 下での作業療法臨床実務実習—本学
での学内体験実習の試み—, リハビリテーション教
育研究 第 28 号: 91-92, 2022.

【社会貢献等】

(研究会講師等)

- 1) 「東京都作業療法士会 令和 4 年度 臨床実習指導
者講習会」講師及び世話人 令和 4 年 11 月 17 日
(団体等役員等)
- 1) 日本作業療法士協会 学術部 部員 (マニュアル編
集担当) (平成 27 年 4 月～現在)
- 2) 日本作業療法士協会 事例登録審査員 (A 審査員)
(平成 29 年 8 月～現在)
- 3) 東京都作業療法士会 東京都作業療法学会 演題査
読委員 (平成 28 年 9 月～現在)
- 4) 日本作業療法教育学会 副会長・事務局長 (平成
30 年 10 月～現在)

5) 第 27 回日本作業療法教育学会 実行委員会事務局 (令和 4 年 5 月～12 月)

坂本 俊夫：准教授

【学会発表等】

- 1) 坂本俊夫「運動学における授業方法とその学習成果に関する文献研究」, 第 18 回東京都作業療法学会, P12-6, 2022. (7 月 10 日 web 開催)
- 2) 坂本俊夫「脳血管障害片麻痺者に対するオンラインでのスピリチュアリティ評価の試み」, 第 56 回日本作業療法学会, PA-9-4, 2022. (京都, 9 月 16 日-18 日)
- 3) 秋元美穂, 坂本俊夫, 富田義人「看護小規模多機能型居宅介護における作業療法士の遠隔介入の試み」, 第 56 回日本作業療法学会, PN-9-6 (京都, 9 月 16 日-18 日).
- 4) 坂本俊夫「脳血管障害者の QOL 評価にはスピリチュアリティを捉える項目が含まれているか」, 第 19 回敬心学園職業教育研究集会 (旧学術研究会), p. 16, 2022. (2022 年 10 月 22 日 Zoom 開催)

【論文等】

- 1) 坂本俊夫「脳血管障害者のスピリチュアリティおよびスピリチュアルケアにおける文献研究」東京保健医療専門職大学紀要第 2 巻 第 1 号:pp. 30-39, 2022.
- 2) 坂本俊夫, 河邊宗知, 猪股英輔, 佐藤淳矢, 近野智子「COVID-19 下での作業療法臨地実務実習一本学での学内体験実習の試みー, リハビリテーション教育研究 第 28 号: 91-92, 2022.

【社会貢献】

(学術団体等の役員等)

- 1) 神奈川県作業療法士会学術誌編集委員 (平成 19 年 4 月～現在)
- 2) 日本作業療法士協会機関誌編集協力者 (第一査読) (平成 29 年 4 月～現在)
- 3) 日本作業療法士協会事例報告登録制度審査委員 (審査員 A) (平成 29 年 9 月～現在)
- 4) 日本作業療法学会 第 6 期演題審査委員 (令和 3 年 2 月～現在)

【その他】

(競争的資金等)

- 1) 坂本俊夫「リハビリテーションによる脳血管障害者のスピリチュアルケア介入モデルの開発, 2021 年度 研究活動スタート支援 (区分: 基金, 課題番号: 21K21175)」日本学術振興会, 令和 3 年 9 月より令和

5 年 3 月まで.

里村 恵子：准教授

【学会発表】

- 1) 齋藤久恵, 河邊宗知, 里村恵子 他: 就労支援事業所の農福連携における作業療法の役割と可能性. 第 53 回日本作業療法学会, 2022. 9. 17

【社会貢献】

- 1) 江東区地域自立支援協議会 会長 (平成 25 年より現在に至る)
- 2) 日本保健科学学会理事 (平成 23 年より現在に至る)

秋元 美穂：講師

【学会発表等】

- 1) 秋元美穂, 坂本俊夫, 富田義人: 「看護小規模多機能型居宅介護における作業療法士の遠隔介入の試み」, 第 56 回日本作業療法学会, 京都(リモート), 2022 年 9 月.

井口 佳晴：講師

【社会貢献等】

(団体等役員等)

- 1) 一般社団法人埼玉県作業療法士会 福祉機器委員会 委員 研修会企画・運営

齋藤 久恵：講師

【学会発表】

- 1) 齋藤久恵, 河邊宗知, 里村恵子: 「就労支援事業所の農福連携における作業療法の役割と可能性」, 第 56 回日本作業療法学会, 2022 年 9 月

【社会貢献等】

(研修会講師)

- 1) 全国リハビリテーション学校協会 第 1 回理学療法士・作業療法士専任教員養成講習会 「人間関係論」講師, 2022 年 1 月 5 日, 6 日, 7 日, 13 日, 27 日, 2 月 3 日, 7 日, 11 日 (全 8 回), Zoom 開催
- 2) 厚労省・(公財) 医療研修推進財団 第 49 回理学療法士・作業療法士・言語聴覚士養成施設教員等講習会 ファシリテーター, 2022 年 8 月 15 日-9 月 3 日, Zoom 開催 (団体等役員等)
- 1) 日本作業療法士協会 教育部部員 (平成 23 年 4 月～現在)
- 2) 理学療法士・作業療法士・言語聴覚士養成施設教員

- 等講習会 東京地区委員 (平成 23 年 4 月～現在)
- 3) 全国リハビリテーション学校協会 理事会推薦理事 (平成 27 年～現在)
 - 4) 就労支援事業所合同会社 朋有我有 業務執行社員 (令和元年 6 月～現在)
 - 5) 理学療法士・作業療法士専任教員養成講習会 運営部部員 (令和 3 年 10 月～現在)

平野 夏子：講師

【執筆】

- 1) 教育講座「音楽療法—その全体像と実像—」東京保健医療専門職大学紀要 第 2 巻・第 1 号 (2022 年 3 月)
- 2) 書評 日本音楽心理学音楽療法研究年報 第 50 巻 (2022 年 3 月)

【社会貢献等】

(学会・研修会講師)

- 1) 日本音楽療法学会「スーパーバイザー養成講座」ファシリテーター、2022 年 1 月 23 日
- 2) 日本音楽療法学会オンライン研修・講習会「コミュニケーション・ミュージカリティ理論への手引き～原初的コミュニケーション・ツールとしての音楽～」講師、2022 年 5 月
- 3) 日本音楽療法学会「スーパーバイザー養成講座」ファシリテーター、2022 年 9 月 16 日
- 4) 第 5 回日本音楽療法学会関東支部講習会 (オンライン・ワークショップ)「対人援助職としての音楽療法士の課題～ワールドカフェで語り合おう!～」ファシリテーター、2022 年 11 月 23 日 (学術団体等の役員等)
- 1) 一般社団法人日本音楽療法学会 代議員 (2007 年 4 月～現在)
- 2) 同・(補) 受験資格基準検討委員 (2018 年 10 月～2022 年 5 月)
- 3) 同・必修講習会運営委員 (2018 年 10 月～現在)
- 4) 同・倫理委員会 副委員長 (2022 年 6 月～現在)
- 5) 同・関東支部 幹事 (2008 年 4 月～現在)
- 6) 同・関東支部 研修講習委員 (2013 年 10 月～現在)
- 7) 日本音楽心理学音楽療法懇話会 理事 (2014 年 4 月～現在)

井川 大樹：助教

【学会発表】

- 1) 井川 大樹：「パラスポーツに関わっている作業療

法士の調査とその実態」, シンポジウム講演, 東京保健医療専門職大学 第 3 回学術大会, 2023 年 1 月 14 日

【その他】

(共同研究・競争的資金等の研究課題)

- 1) 井川大樹：離れた後にも残存する対人接触効果ダイナミクスの解明, 日本学術振興会 科学研究費助成事業 研究活動スタート支援 2021 年 9 月-2022 年 3 月

河邊 宗知：助教

【学会発表】

- 1) 齋藤久恵, 河邊宗知, 里村恵子：「就労支援事業所の農福連携における作業療法の役割と可能性」, 第 56 回日本作業療法学会, (2022 年 9 月 16 日-9 月 18 日 国立京都国際会館/オンライン併用)
- 2) 羽鳥乃路, 河邊宗知：「認知行動療法に対する研修前後のイメージ～認知行動療法以外の方法を用いている心理職 3 名に対するインタビュー～」, 第 22 回日本認知療法・認知行動療法学会, (2022 年 11 月 11 日-11 月 13 日 高島屋日本橋ホール/コングレススクエア 日本橋)

【社会貢献等】

(団体役員等)

- 1) 東京都作業療法士会 教育部部員 (2022 年 4 月～現在)
- 2) 日本作業療法教育学会 選挙管理委員 (2022 年 11 月 20 日 藍野大学) (研修会講師等)
- 1) 豊島区職員研修会 テーマ「子どもの「困り感」への援助方法～保育現場でできること～」 2022 年 7 月 1 日
- 2) 豊島区東部子ども家庭支援センター巡回心理職研修会 テーマ「子どもへの援助と作業療法」 2022 年 10 月 21 日

佐藤 淳矢：助教

【論文】

- 1) 富田義人, 加藤剛平, 重國宏次, 有本邦洋, 秋元美穂, 大矢暢久, 五嶋裕子, 佐藤淳矢, 武井圭一, 畠山久司「コロナ禍の医療系大学生における自宅付近での運動と運動習慣との関連」日本生理人類学会誌 27(2) 23-26 2022 年 5 月
- 2) 坂本俊夫, 河邊宗知, 猪股英輔, 佐藤淳矢, 近野智

子,「COVID-19 下での作業療法臨地実務実習—本学での学内体験実習の試み—, リハビリテーション教育研究 第 28 号 : 91-92, 2022

【学会発表】

- 1) 佐藤淳矢, 平孝臣, 北田航也, 安藤俊貴, 石岡俊之 : 「症例対象研究による本態性振戦患者における視床熱凝固術の心身機能変化」第 56 回日本作業療法学会 2022 年 9 月
- 2) 佐藤淳矢, 平孝臣, 北田航也, 安藤俊貴, 石岡俊之 : 「本態性振戦患者の熱凝固術後に顕在化する重心変位の特徴」第 7 回作業療法神経科学研究会 学術大会 2022 年 7 月

【社会貢献等】

(団体等役員等)

- 1) 医療福祉系専門職養成教育の指導力スキルアップ研究会 理事 2011 年 6 月 - 現在

畠山 久司 : 助教

【原著論文】

- 1) 富田義人, 加藤剛平, 重國宏次, 有本邦洋, 秋元美穂, 大矢暢久, 五嶋裕子, 佐藤淳矢, 武井圭一, 畠山久司 : コロナ禍の医療系大学生における自宅付近での運動と運動習慣との関連 . 日本生理人類学会誌 27(2) : 23-26, 2022.

【著書】

- 1) 畠山久司 : 「緒言 コミュニケーションの発達 0～1 歳までのことばの発達」. 小児リハビリテーション 13 : 12, 2022.
- 2) 畠山久司, 奥住啓祐 : 「1 歳からのことばやコミュニケーションの発達」. 小児リハビリテーション 14 : 22-26, 2022.

【学会発表】

- 1) 畠山久司, 山西葉子, 伊藤祐子 : 「乳幼児期における母子間の身体接触と母子関係との関連性の文献レビュー」, 第 56 回日本作業療法学会 , 2022 年 9 月
- 2) 小野寺哲夫, 畠山久司, 大塚幸永, 武井圭一, 森本晃司, 江幡真史 : 「医療系専門職大学の教育的特徴の何が OT/PT を目指す学生の成長に影響を与えるのか」, 第 19 回職業教育研究集会, 2022 年 10 月
- 3) 森本晃司, 畠山久司, 大塚幸永, 小野寺哲夫, 武井圭一, 富田義人, 江幡真史, 鳥居昭久 : 「理学・作業療法養成過程を有する専門職大学の魅力度・認知度の調査—入学時学生アンケートによる実態調査—」, 第 35 回教育研究大会・教員研修会, 2022 年 10

月

【地域・社会貢献等】

(研修会講師等)

- 1) 「学校で活かす作業療法」講師 テーマ「学校で活かす作業療法」2022 年 7 月 3 日 主催 : 江東・生活者ネットワーク
- 2) 「東京都立町田の丘学園 職員研修」講師 テーマ「学校生活に活かす感覚統合理論」2022 年 7 月 27 日 主催 : 東京都立町田の丘学園
- 3) 「株式会社 LITALICO 多職種研修会」講師 第 1 回 : 2022 年 6 月 7 日 第 2 回 : 2022 年 8 月 23 日 主催 : 株式会社 LITALICO
- 4) 「江東区子ども発達センター 職員研修浦」講師 テーマ : 「子どもの身体の育ちと園でできる身体発達を促す遊び」2022 年 12 月 8 日 主催 : 江東区子ども発達センター (団体等役員等)

- 1) 日本作業療法士協会 学術部 部員 (マニュアル編集班) (平成 30 年 12 月～現在)
- 2) 雑誌「小児リハビリテーション」編集委員 (平成 31 年 4 月～現在)
- 3) 東京都特別支援学校 外部専門家 (令和 2 年～現在)
- 4) 株式会社 LITALICO 外部専門家 (令和 2 年～現在)
- 5) 第 39 回日本感覚統合学会実行委員 事務局 事務局長 (令和 2 年 5 月～現在)
- 6) 江東区自立支援協議会児童部会 発達障害児ワーキンググループ (令和 2 年 11 月～現在)
- 7) 世田谷区立砧小学校ことばの教室 『学識経験者等による指導・相談』講師 (令和 3 年 12 月～現在)
- 8) 狛江市学童クラブ 巡回相談員 (令和 4 年 4 月～現在)

V. 学科会議録

2022 年 1 月～2022 年 12 月までの作業療法学科会議の日程を記載する。原則として月 1 回ないし 2 回の頻度で, Zoom によるオンライン方式にて開催した。(議事録はサイボウズ Office 学科会議議事録に収載)

【2021 年度】(2022 年 1 月～3 月)

- 第 17 回学科会議 (2022 年 1 月 17 日)
- 第 18 回学科会議 (2022 年 2 月 7 日)
- 第 19 回学科会議 (2022 年 2 月 21 日)
- 第 20 回学科会議 (2022 年 3 月 7 日)
- 第 21 回学科会議 (2022 年 3 月 28 日)

【2022 年度】(2022 年 4 月～12 月)

- 第 1 回学科会議 (2022 年 4 月 4 日)
- 第 2 回学科会議 (2022 年 5 月 23 日)
- 第 3 回学科会議 (2022 年 6 月 27 日)
- 第 4 回学科会議 (2022 年 7 月 25 日)
- 第 5 回学科会議 (2022 年 8 月 22 日)
- 第 6 回学科会議 (2022 年 9 月 26 日)
- 第 7 回学科会議 (2022 年 10 月 24 日)
- 第 8 回学科会議 (2022 年 11 月 28 日)

VI. 作業療法学科のポリシー

【アドミッション・ポリシー ～学生受入れの方針～】

- 1) 作業療法士として、身体または精神に障害のある人々や社会的な諸問題に直面している人々を援助する意欲のある人
- 2) 作業療法士として、多様な価値観を尊重しながら、主体的に考え、自らの意思に基づいて実践する意欲のある人
- 3) 共生社会の実現を意識し、作業療法の知識・技術及び幅広い視点で諸問題を解決する能力を実践的に身に付ける意欲のある人
- 4) 作業療法士として、他者との協調性を持ち、連携・協働を行いながら、方向性を定めて、実践する意欲のある人
- 5) 作業療法を学ぶための基礎的な学力を有している人

【ディプロマ・ポリシー ～卒業認定・学位授与の方法～】

■ 保健医療分野の専門性

作業療法に関わり専門的な知識や技術を修得し、身体的及び精神的なリハビリテーションを必要とする対象者に、日常生活・社会生活を実現するための支援ができる。

■ 共生社会の理解

作業療法の専門職としての役割に加え、共生社会の理念を実践する作業療法士としての自覚を持ち、組織や地域社会に貢献することができる。

■ 課題解決力

生活支援を行う医療専門職である作業療法士として、適切な評価を通して、対象者が実現したい生活行為等を把握し、日常生活・社会生活に必要な能力の維持・回復等に関する課題解決に取り組むことができる。

■ 応用力

作業療法の専門性である生活支援分野等に隣接する

他分野へ視野を広げ、対象者の QOL 維持・向上や健康寿命の延伸に向けた作業療法の応用・展開に取り組むことができる。

■ 組織における経営・マネジメント力

保健医療経営や作業療法に取り組む組織・人材マネジメント等に関する基礎知識を身に付け、保健医療経営やマネジメント等の課題に幅広く対応できる。

【カリキュラム・ポリシー ～教育課程編成・実施の方針～】

■ 基礎科目

作業療法士として活躍するための知識や教養を涵養する科目を配置する。他人を敬う心の大切さを踏まえ、敬心学園理念を理解し、QOL の維持・向上についての基本を学ぶ。その上で、作業療法を学ぶための基礎的な能力を高める科目に加え、責任感や使命感を持った職業人材を育成するために必要な科目を配置する。

■ 職業専門科目

作業療法士として必要なリハビリテーションに関する専門知識・技術を学修する科目を体系的に配置する。対象者を敬い、多職種や地域との連携や協働をしながら作業療法に取り組むことができる能力を養う教育を行う。

■ 展開科目

作業療法の専門的な知識や技術に加え、展開力を有した実務リーダーとして活躍するために、「作業療法に隣接する他分野（隣接他分野）」「組織の経営・マネジメント（経営分野）」及び「統合分野」に関する科目を配置する。隣接他分野では、「共生福祉論」を学んだ上で、「ユニバーサルツーリズムと外出支援」など作業療法と融合することで活躍の場を広げる科目を配置し、QOL の維持・向上や健康寿命の延伸への考えを深め、複眼的な視点や新たな発想力を養う。経営分野では、基本的な経営・マネジメントを学ぶ科目と、保健医療に関する経営・マネジメントを学ぶ科目を配置し、所属する組織における諸問題の改善に必要な能力を育成する。統合分野では、隣接他分野と経営分野の学修を統合し、共生社会の実現に貢献しうる役割やサービスを考えることができる能力を育成する。

■ 総合科目

基礎科目、職業専門科目、展開科目で学修した知識・技術を統合し、実務リーダーとして活躍できる作業療法士の育成を図る科目を配置する。卒業研究を通じ科学的な思考過程を追求する姿勢を身に付ける。

(文責：近野智子)